

品名登録番号	トップジン[®]Mペースト		農林水産省登録 第13411号				
成分含有量	1,2-ビス(3-メトキシカルボニル-2-チオウレイド)ベンゼン(チオファネートメチル)		3.0%				
物理的・化学的性状	橙黄色粘稠懸濁液						
特長	<p>1. 病患部を削り取った後の傷口、剪定・整枝・環状はく皮時の切り口などに本剤を塗布すると、耐雨性の安定した殺菌保護被膜が速やかにでき、木質部の亀裂、雨水や雑菌の侵入を防ぎ、新しいカルス（ゆ合組織）の形成を著しく促進し、病害の感染を防ぎます。</p> <p>2. 日やけ、凍害、つる直しなどによる傷口に予防的に塗布すると、病原菌の侵入を防ぐことができます。</p>						
適用病害名・使用目的及び薬量	作物名	適用病害名・使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
	適用病害名・使用目的及び薬量	もも	切り口及び傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回以内	10回以内 〔塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内〕
りんご		腐らん病 輪紋病	剪定時及び病患部削り取り直後		10回以内 〔塗布は3回以内、灌注は1回以内、散布は6回以内〕		
なし		切り口及び傷口のゆ合促進	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後		11回以内 〔塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、灌注は1回以内、生育期の散布は6回以内〕		
		胴枯病、輪紋病 黒斑病、腐らん病 紅粒がんしゅ病	剪定整枝時及び病患部削り取り直後				
かき		切り口及び傷口のゆ合促進	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後		10回以内 〔塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は6回以内〕		
		切り口の枯込防止	剪定整枝時				
マルメロ かりん					9回以内 〔塗布は3回以内、散布は6回以内〕		
いちじく		切り口及び傷口のゆ合促進	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後		14回以内 〔塗布は3回以内、灌注は6回以内、散布は5回以内〕		
かんきつ					8回以内 〔塗布は3回以内、散布、空中散布及び無人ヘリ散布は合計5回以内〕		
		幹腐病 切り口の枯込防止	剪定整枝時				
キウイフルーツ			8回以内 〔塗布は3回以内、散布は5回以内〕				
おうとう	切り口及び傷口のゆ合促進	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	6回以内 〔塗布は3回以内、散布は3回以内〕				

TOPSIN-M PASTE

thiophanate-methyl

適用病害名・使用目的及び薬量	作物名	適用病害名・使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法	
適用病害名・使用目的及び薬量	小粒核果類	切り口及び傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回以内	すももは6回以内 〔塗布は3回以内、休眠期の散布は1回以内、生育期の散布は3回以内〕 その他の小粒核果類は6回以内 塗布は3回以内 散布は3回以内	塗布	
	びわ					7回以内 〔塗布は3回以内、散布は3回以内、灌注は1回以内〕		
	ぶどう					6回以内 〔塗布は3回以内、散布は3回以内〕		
	ぶどう	晩腐病	3倍	休眠期(萌芽前)	3回以内	5回以内 〔塗布は3回以内、散布は2回以内〕		
	オリーブ	切り口及び傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回以内	3回以内		
	くり							胴枯病
	果樹類 〔もも、なし、かき、びわ、マルメロ、いちじく、かんきつ、おうとう、りんご、くり、小粒核果類、キウイフル、ツ、ぶどう、かりん、オリーブを除く〕	切り口及び傷口のゆ合促進	原液	剪定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後	3回以内	3回以内		
	樹木類							1回
	漬物用すいか、きゅうり、すいか、まくわうり	つる枯病			発病初期	5回以内		6回以内 〔種子への処理は1回以内、は種後は5回以内〕


適用病害名・使用目的及び薬量	作物名	適用病害名・使用目的	希釈数	使用時期	本剤の使用回数	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数	使用方法
適用病害名・使用目的及び薬量	メロン	つる枯病	原液	発病初期 ただし収穫 21日前まで	1回	5回以内 〔種子への処理は1回 以内、塗布は1回以 内、散布は3回以内〕	塗布
	きり	腐らん病	原液	剪定整枝時及び 病患部削り取り直後	5回以内	5回以内	
	さくら	てんぐ巢病		病枝切除後			
	ぶな (伐倒木)	クワイカビ類 による木材腐朽	伐倒直後	1回	5回以内	木口に 塗布	
<p>〔効果・薬害などの注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1kg は使用直前によく攪拌し、刷毛等の適切な塗布用具を用いて塗布してください。また、200g チューブの場合、原液をチューブから直接またはハケなどで塗布してください。 りんご腐らん病の治療に使用する場合、病斑をみつけ次第病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。また、剪定・整枝時や、環状はく皮などによる切り口に予防的に塗布してください。 なしの胴枯病・紅粒がんしゅ病・輪紋病・腐らん病、くり胴枯病、きりの腐らん病の治療に使用する場合、病斑をみつけ次第、病患部を大きめに完全に削り取り、その傷あと及びその周辺に十分に塗布してください。 ぶどうの晩腐病に使用する場合、結果母枝を主体に塗布してください。ぶどうに対し、萌芽後に使用すると生育遅延を生ずるおそれがあるので、必ず萌芽前に使用してください。 きゅうり、すいか、まくわうりに使用する場合、主茎の基部（地ぎわから10cm～20cm）や病患部に1週間間隔で2～3回塗布してください。この場合、病患部をあらかじめ削り取ってから塗布すると一層効果的です。 さくらのてんぐ巢病に使用する場合、病巢の発生している枝を健全部で切除し、その切り口に十分塗布してください。 ぶな丸太の防菌に使用する場合、伐倒後24時間以内に木口に十分塗布してください。なお、本剤による防菌効果は2ヵ月後までであり、それ以後の効果は期待できないので留意してください。 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。 使用後の刷毛等の用具はそのまま放置せず、水でよく洗っておいてください。 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。 <p>〔安全使用上の注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 眼に対して弱い刺激性がありますので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。 13. 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。 14. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。 15. かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。 16. 街路・公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に、小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう、縄囲いや、立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。 <p>保管：密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。</p>							



使用方法及
び注意事項



殺 菌 剤 トップジンMペースト

 使用方法及 び注意事項	○必要量を購入し、できるだけ残すことなく使い切ってください。空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。 ○移送取り扱いは、ていねいに行ってください。
	【PRTR該当成分】 チオファネートメチル (PRTR・1種 229) 3.0% フタル酸ジ-n-ブチル (PRTR・1種 354) 5.4%
包 装	(200g×10本) × 5箱、1 kg×12本 有効4年
毒 性	普通物 (毒劇物に該当しないものを指している通称)